

問 4 5 . 「仙台市スポーツ推進計画」の認知度（S A）

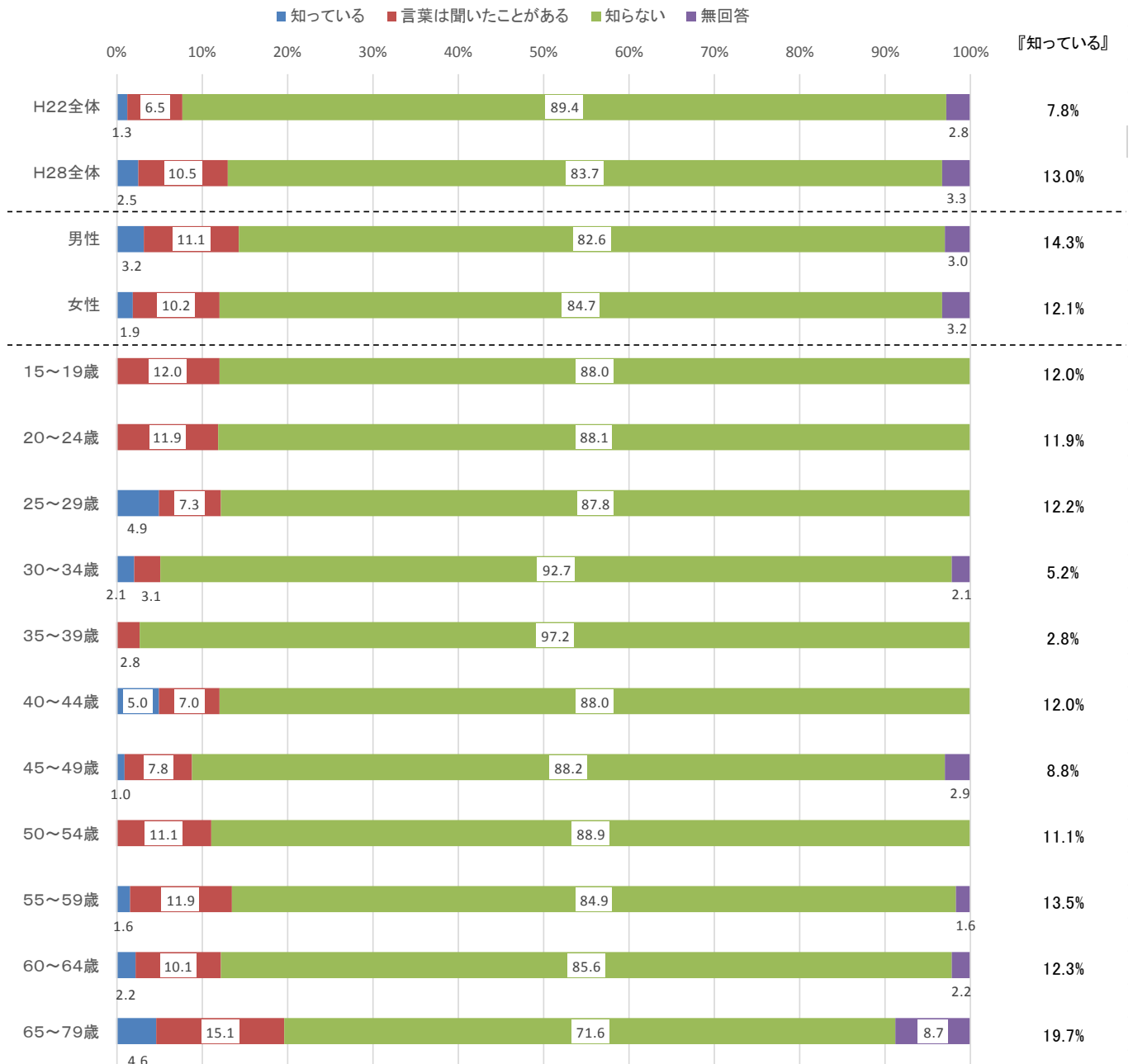
- 認知度は1割強。圧倒的に「知らない」層が多い
- 男性での認知度がやや高い
- 65～79歳で認知度が2割と高い

※当設問は、設問形式や選択肢は同じであるが、前回とは計画の名称（H22年度：「せんだいスポーツ元気プラン」）が異なるため、単純な年度別数値の比較・分析はできない。

○今回の結果を見ると、認知している人（知っている＋言葉は聞いたことはある）が1割を超えたものの（計13.0%）、「知らない」と答えた人が8割を超える（83.7%）のが現状である。

○男女別に見ると、男性の方で“認知度”が高くなっている（計14.3%）。

○年代別で見ると、65～79歳で“認知度”が高く、2割に上っている（計19.7%）。30代の層では「知らない」が9割を超えている。



【 H22：N=1,317 H28：N=1,444 】

問 4 6 . 運動やスポーツの社会的役割（MA）

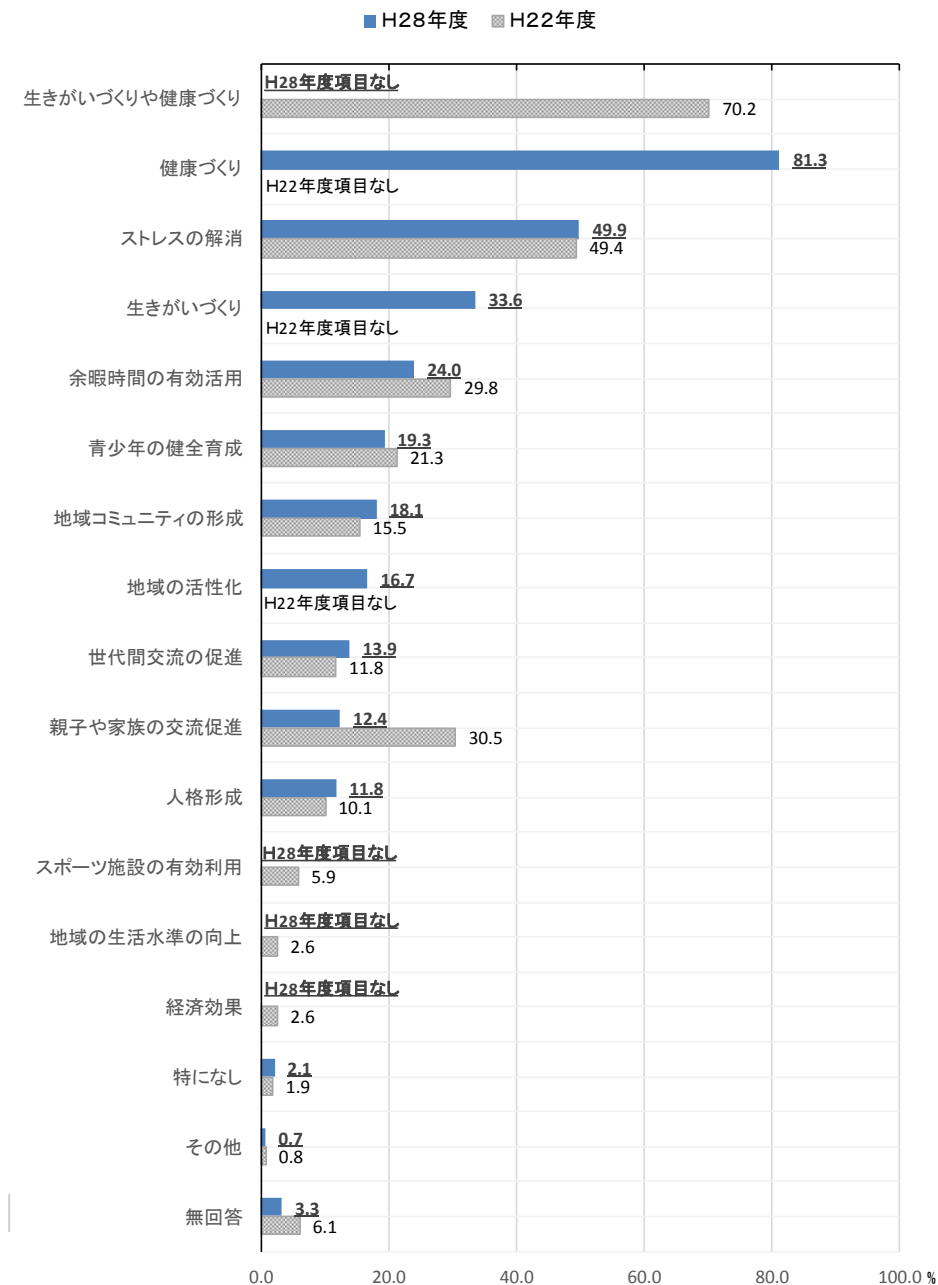
- 「健康づくり」が8割を超える
- 「ストレスの解消」・「生きがいづくり」の支持割合も高い
- 「親子や家族の交流促進」の減少幅が大きい

※1 当設問は今回と前回で選択肢が異なるため、単純に年度別数値の比較・分析はできない。

※2 当設問は本来回答数が制限（〇は3つまで）された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』（MA設問）と同様に扱い、集計・分析を行っている。

○今回の結果を見ると、「健康づくり」が8割を超えており（81.3%）、圧倒的に高い。以下、「ストレスの解消」（49.9%）、「生きがいづくり」（33.6%）と続く。

○前回（H22年度）と今回の共通の項目を見ると、大部分で僅差となっているが、唯一「親子や家族の交流促進」（12.4%）のみ、前回（H22年度：30.5%）からの下がり幅が大きく、今回は前回の半分以下の割合となっている。

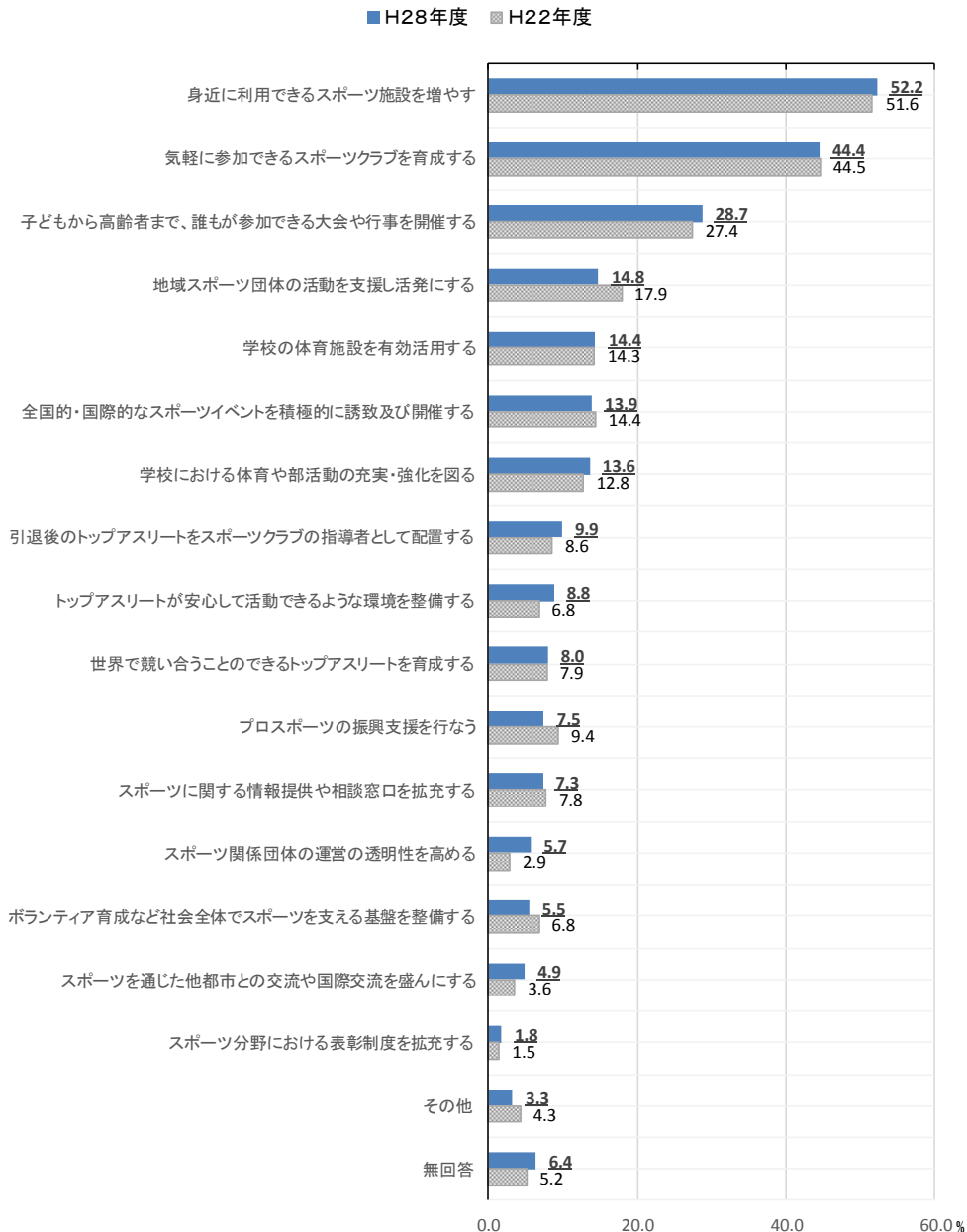


問47. 仙台市のスポーツ振興に必要なと思うこと（MA）

■実施年度別・項目別の割合にほとんど差がない
■「身近なスポーツ施設の増」が5割を超えている

※当設問は本来回答数が制限（〇は3つまで）された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』（MA設問）と同様に扱い、集計・分析を行っている。

- 下グラフの通り、実施年度別・項目別の割合にほとんど差がないのが当設問の最大の特徴である
今回の最多は「身近に利用できるスポーツ施設を増やす」で5割強（52.2%）、以下「気軽に参加できるスポーツクラブを育成する」（44.4%）、「子どもから高齢者まで、誰もが参加できる大会や行事を開催する」（28.7%）と続く。
- 数値的にはわずかな差であるが、「地域スポーツ団体の活動を支援し活発にする」は前回より3ポイント低下（H22年度：17.9%・H28年度：14.8%）、「スポーツ関係団体の運営の透明性を高める」は、前回の倍（H22年度：2.9%・H28年度：5.7%）となっている。



【 H22：N=1,317 H28：N=1,444 】

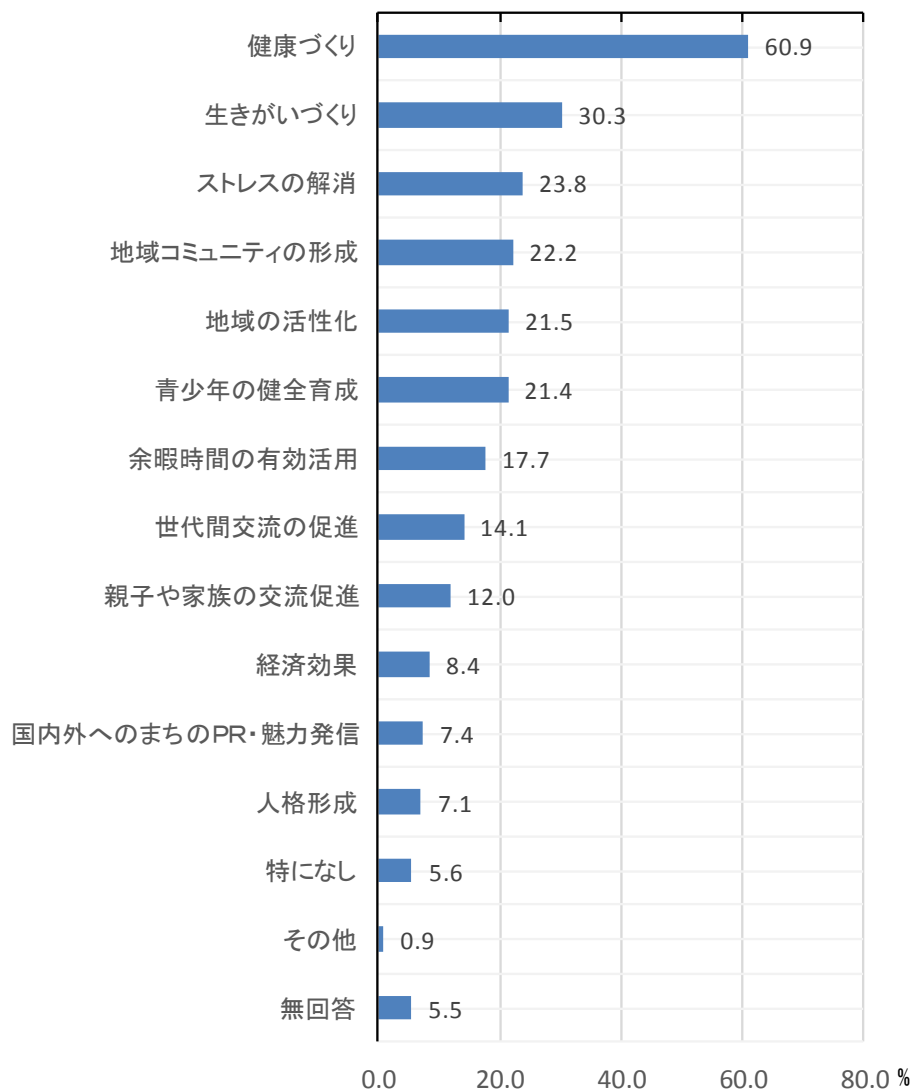
問48. 仙台市のスポーツ振興施策に期待すること (MA) 【H28年度新規設定の設問】

- 最多は「健康づくり」で6割
- 「健康づくり」以外の項目は支持が分散の傾向

※本設問は本来回答数が制限（〇は3つまで）された設問であるが、実際は制限数を超える回答が多く寄せられたため、全ての回答を活かすために『複数回答設問』（MA設問）と同様に扱い、集計・分析を行っている。

○最多は「健康づくり」で6割（60.9%）、2位は「生きがいがづくり」（30.3%）となっている。

「健康づくり」が飛び抜けて高いが、それ以外を見ると、重要なキーワード（地域活性、健全育成、交流促進、経済効果等）が含まれる項目が多いにも関わらず、いずれも割合の差が大きく開いていないことから、支持が分散している様子が伺える。



N=1,444